

北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 10号 (通巻 No.130)

2002年 7月 25日

北海道立水産試験場

北西太平洋サンマ北上期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)で行った**サンマ北上期調査**の結果をお知らせします。

調査期間: 2002年7月9日~23日

調査海域と調査点(図1): 北西太平洋(40°30'N~46°30'N, 149°30'E~162°30'E)の17調査点(漁獲調査は9点)

調査方法: 9種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

表面水温・・・昨年とほぼ同じもしくは低い

調査海域の表面水温は 8.6~18.8 でした(表1)。調査点別では、昨年とほぼ同じもしくは低めで、ST.1および ST.14以西の海域では昨年より 2~5 低めでした。

漁獲尾数・・・昨年より少ない

流し網調査によるサンマの総漁獲尾数は 229 尾で、昨年(2,781 尾)を大幅に下回りました(表1)。

漁獲尾数が大幅に減少した要因として、今年は水温が低いために、調査海域までサンマが北上していなかった(主分布域が調査海域の南にある)可能性があります。

体長組成・・・調査全体では大型魚が主体(図2)

調査全体では、体長 30cm モードの**大型魚**が漁獲物の大半を占め、昨年・一昨年に多かった**中型魚**はほとんど漁獲されませんでした。

調査点別にみると、冷水域(表面水温 11 以下)にあたる ST.1,3,7 では**大型・特大魚**が主体でした。冷水域から暖水域への移行部にあたる ST.11' では**小型魚**と**ジャミ**が漁獲されました。暖水域(表面水温 15 以上)の ST.13 では**中型魚**と**小型魚**が、ST.15 では**大型魚**が漁獲されました。

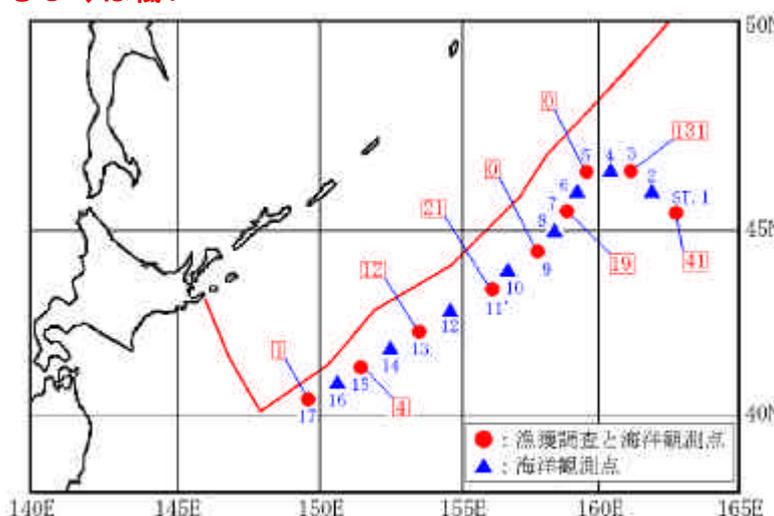


図1 調査点図と漁獲尾数(四角枠内)

来る8月5~6日に東北区水産研究所(塩釜市)で平成14年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁海況予報が発表される予定です。

(文責: 釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)

表1 サンマ北上期調査結果

S T 調査日	水温 ()			サンマ漁獲尾数							
	0m	50m	100m	22ミ	25ミ	29ミ	37ミ	48ミ	55ミ	合計	
1	7.13	8.8	4.8	5.5	0	0	0	38	3	0	41
2	7.13	11.8	9.5	3.9							
3	7.14	9.5	3.7	3.3	0	0	13	101	17	0	131
4	7.14	8.8	4.8	2.0							
5	7.15	8.9	3.9	1.7	0	0	0	0	0	0	0
6	7.15	8.6	3.4	1.4							
7	7.16	10.4	3.9	1.4	0	0	2	13	4	0	19
8	7.16	11.0	4.7	2.7							
9	7.17	11.6	3.6	2.8	0	0	0	0	0	0	0
10	7.17	14.3	5.3	3.8							
11'	7.18	14.3	5.1	1.4	13	7	1	0	0	0	21
12	7.18	15.2	10.5	7.4							
13	7.19	16.4	11.5	9.0	1	2	7	2	0	0	12
14	7.19	16.6	10.4	8.9							
15	7.20	15.5	11.1	8.9	0	1	1	1	1	0	4
16	7.20	17.9	13.2	10.4							
17	7.21	18.8	11.0	7.1	0	0	1	0	0	0	1
合計					14	10	25	155	25	0	229

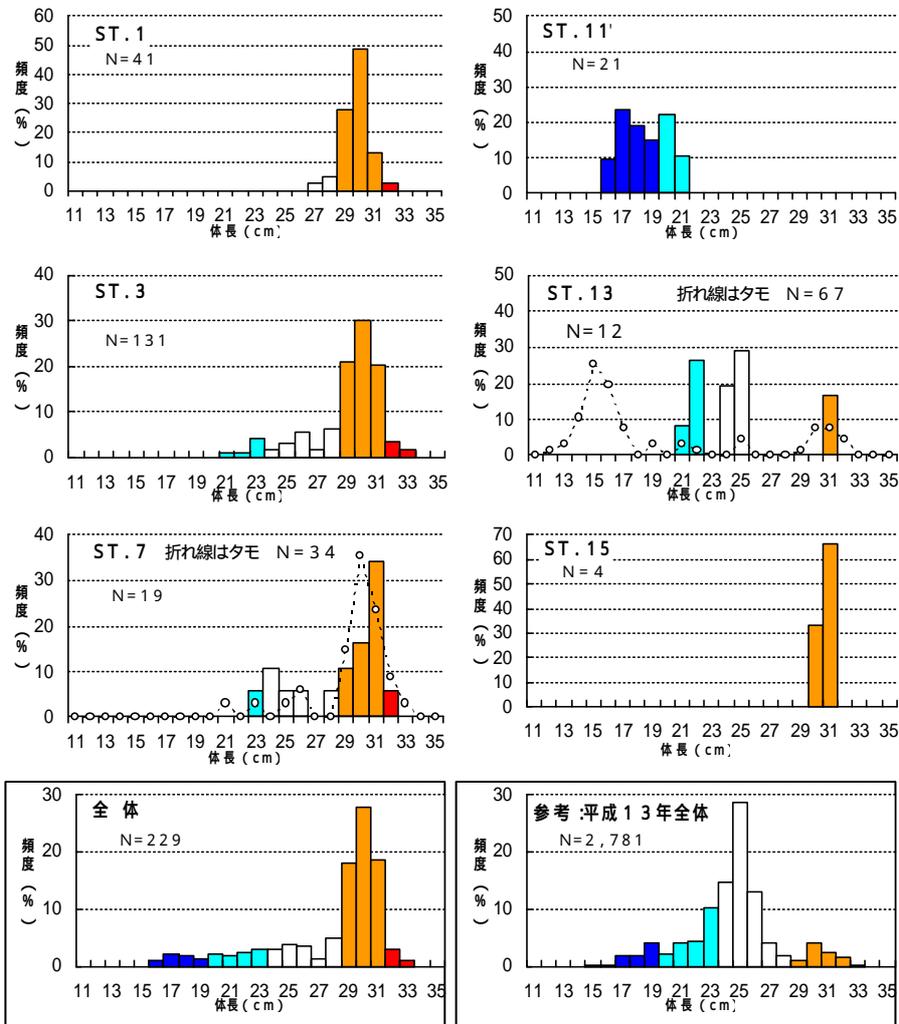


図2 サンマ北上期調査の調査点別体長組成 (Nは漁獲尾数)
(右下図は、昨年の体長組成図)